
彼方へ届く、幻想曲。

霜月真希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼方へ届く、幻想曲。

【Nコード】

N6512Y

【作者名】

霜月真希

【あらすじ】

この小説の主人公は怪盗メロディー。彼女の次のお宝は、佐久間家が所有している『虹色のダイヤモンド』。だが、ある組織が彼女の前に現れる。自ら『風林火山』と名乗るその組織は、宝石を盗むのを辞めさせようとするのだが――。

これは、少年少女が織り成す、切ない幻想の曲。

（これは、他サイトで自分が書いている小説を、大分改稿したもの

です。キャラクター名前の表記など変わっているところがあります
が、本人ですのでご了承ください（

序曲

薄暗く静かな夜に、バイオリンの音が流れ出す。

綺麗なそのメロディーが流れてるのは、ある豪邸の一室。二十人ばかりの警察が、その音に驚き、辺りを見渡す。

——その刹那、

強風が起こった。

警察がその風に驚き、床に顔を伏せる。——その時、

「お馬鹿な警察さん。今宵も宝石盗みに来たわよ」

透き通るような綺麗な声が、警察に取り巻かれてた宝石のケースの上から聞こえてきた。

長い栗色のポニーテールを揺らしながら、十七歳ぐらいの少女は口元に微笑を浮かべる。

その少女の手には、キラキラに輝く宝石が握られていた。

「来たな！ 怪盗——メロディー！！ 待ってたぞ」

宝石を持ち、勝利を背にしていた少女は、後ろから浴びせられた声に口元を歪めて後ろを向く。

そこには、四十歳位の男が、古びたスーツを着ながら立っていた。

「貴様の周りはすべて周囲した！ 逃げ場は無いぞ！！」

何時の間にか、少女の周りには三十人ばかりの男の警官が、取り巻いていた。

絶体絶命——男からいわせると——のこの状況でも、少女は口元をほころばせている。

「何だ？ 何がおかしい！！」

その微笑に気づき、凄い迫力で男が怒鳴る。

男からの殺気が見えないのか、少女は声に出してクスクスと笑った。

「お馬鹿な警察さん。私をこれで追い詰めたつもりなのかしら？」

「何がおかしい！ こんな状況で逃げ延びた者は一人もおらんぞ！！」

「だからだわ。貴方達に私を捕まえることなど出来ない。だって、勝利するのは、わ、た、し——」

少女は相手の男を見すえ、改めて微笑みかける。
それを見た男は憤激し、

「か、かかれ——！！」

周りの警官に一言をかけると、自ら少女に向かっていく。後からは、警官たちが少女にめがけてどんどん飛びかかって行った。

「ふふつ。本当に、お、ば、か、さん」

少女は呟くと、上に跳んだ。その時、窓が音を立てて開き、強風が入ってくる。

その風に警官が飛ばされ、入り口の方にある扉に無様に激突した。

「メルシー、警察の皆さん。ごきげんよう」

少女は窓に立ち、振り返って言った。栗色のポニーテールが、風になびく。だが、月からの逆光で表情は伺えない。

そして少女が口が三日月形に開いた、その時——そこには、もう、少女はいなかった。

そこにあったのは、風になびく豪華なカーテンだけだった。

大きくそびえ立つビル、そこに少女は立っている。栗色の髪をなびかせ、つきを背に、町の騒がしい一角を見つめて——。

「あーあ、終わったわ。呆気なかったわね」

「……そうだな。簡単すぎる」

少女が口を開くと、何時もまにか側に立っていた少年が、少女の問いに答えた。

全身黒ずくめの服装をした、彼女と同じ年ぐらいの少年だ。

「ふふつ。今度はもうちょっと楽しい所にしましょ。たとえば——」

いったん言葉を切ると、少女は、少年の耳に口を近づけると何かを呟いた。

少年は、無表情でそれを聞いてたが、その顔がいつぺん、微笑んだように歪んだ。だがそれは一瞬の事で、すぐに無表情に戻る。

「じゃあ、散!！」

少女がそういった刹那、二人の姿はもう、そこには存在しなかった。

後に残されていたのは、自然にそよめく風のみだった――。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6512y/>

彼方へ届く、幻想曲。

2011年11月20日04時08分発行